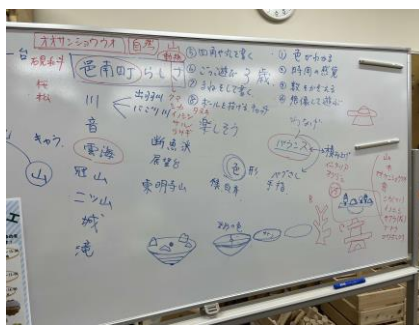


寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人 IMO Factory
テーマ名	子育てや社会教育の推進
事業名	みんなのおもちゃ事業
事業費(うち助成金額)	280,000 円(280,000 円)
ネーミングライツ(該当があれば)	※NPO活動推進室記載箇所



■事業目的 (250文字程度)

本事業の目的は、「子育てへの意識の醸成」と「地域産業の活性化」です。本事業を実施することで、「日本一の子育て村」をめざす邑南町において、町民の子育てへの意識を高める一助になると考えています。

木のおもちゃに対するニーズは比較的高いと感じています。しかし、子ども達に自然のものに触れて欲しいと思う一方、木のおもちゃが高価であったり、手に入りにくくなっていたりします。その点からもウッドスタート関係者との連携から、木のおもちゃについて考えたり、より身近に感じてもらえたりするアイデアを産み出したいと思っています。

■事業内容 (350字程度)

デザインの選定に当たっては、3歳児の成長課題や興味を考慮しつつ、邑南町の自然を感じてもらえるおもちゃを考えました。おもちゃのアイデアは、石見養護学校木工班やウッドスタート関係者にも協力してもらい、3回の協議を重ねました。そのアイデアをまとめ、デザインする際には、邑南町の1歳半の子ども達にプレゼントをするつみきのデザイナーでもあった Herdia Komiyama に委託、協力していただきました。デザインを試作には、石見養護学校木工班に協力していただき、デザイナーからのアドバイスを受けて製作しました。木育関係者が集まる木育会議にて、おもちゃの試作を持ち込み、アドバイスをいただき、協力していただけることになりました。3月までにまとめた改善点に基づき、試作を重ね、矢上高校と石見養護学校の作業製品販売会に合せて、試験販売を行いました。

■事業成果と今後の展望 (450字程度)

今回の事業成果は大きく2つあります。1つは、邑南町の木育に参加できたことです。木育の協力・応援にもなるこの事業を通じて、木育関係者との関係を深めることができました。もう1つは、石見養護学校の生徒やデザイナーとの話し合いの中から、子どもの成長や学び、おもちゃづくりの意義を考えることができたことです。邑南町の子ども達におもちゃを通じて感じて欲しいことや大人になってからも手に取ってもらえるにはどうしたらいいかまで検討しました。その中で、邑南町の良さは何かも考えることができ、邑南町の自然や温かい雰囲気を味わっていただけるようなおもちゃをどう形にするかも関係者と話し合うことができました。試作の完成までに多くの方に協力していただいたことで、かわいらしく、親しみのあるおもちゃができました。これからは邑南町内おけるさらなる協力体制を構築することが継続のポイントとなります。このおもちゃをとおして、「邑南町」や「子育て」だけでなく、「木育」「特別支援教育」についても考えていただくきっかけを作っていきたいと考えています。